

4/2 世界自閉症啓発デー



ブルーにライトアップされた市民文化会館「かたりあ」

国連が定める「世界自閉症啓発デー」と、日本において実施される「発達障害啓発週間」は、自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害について、正しい理解を広げるとともに、支援の大切さを社会全体で考えるための大切な機会とされています。

市では、磐田市民文化会館「かたりあ」で癒し・希望・穏やかさを象徴するブルーのライトアップで啓発のメッセージを伝えました。

3/24 レモン産地化へ！



レモンの苗木を定植する様子

株式会社 LEMONITY の農場で「レモン定植祭」が開催されました。約4haに2,000本の苗木を植える大規模な定植を行い、今後100~120tの収穫を目指しています。

鈴木社長は「今後関係人口を増やしなが、夢の100haに向けて頑張っていきます」と話し、市長は「笑顔と栄養が食卓に届けられるよう、産地化へ市も協力します」と話しました。

4/3 消防点検を実施しました



消防点検実施の様子

今之浦公園で市長による消防本部の通常点検が行われ、約130人の消防職員が参加しました。点検では、姿勢や服装、礼式などを確認し、日頃の訓練の成果と規律の徹底を確かめました。

市長は、日頃の訓練の積み重ねにより市民の安心・安全が支えられていることに感謝を述べ、消防活動での事故防止のため、今後も緊張感を持って取り組むよう話しました。

3/28 思い出の園舎にありがとう



豊田北保育園でパラバルーンを披露する園児たち

豊田北保育園・豊田北部幼稚園の閉園式が行われ、69年・46年の歴史に幕を下ろしました。

豊田北保育園では、園児たちが歌やバルーンを披露し、これまでの園生活への感謝とたくさんの思い出を会場いっぱい届けました。年長の今田奏良さんは「自分たちで作った竿でザリガニを釣ったことが1番の思い出です。小学校に行ったら、宿題をきちんと勉強を頑張ります」と話しました。



## 4/18 第24回いわた大祭りの開催



舞車おどりを披露する参加者たち

見付宿場通り周辺で「いわた大祭り 遠州大名行列・舞車」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

舞車おどりではサンバや音頭など多彩なリズムに合わせ、参加者が一体となって踊り、会場を盛り上げました。そのほか、舞車の故事を再現した幻想的な演出なども行われ、訪れた人々は過去と現代が融合した祭りの魅力を楽しんでいました。

## 4/3 地域おこし協力隊に委嘱状交付



地域おこし協力隊の掛下さん（左）、森下さん（中央）

地域おこし協力隊の森下俊さんと掛下大規さんが活動を開始し、委嘱状交付式が開催されました。

森下さんは、スポーツを通じた地域活性化やホームタウン活動に取り組み『『スポーツのまちいわた』を盛り上げます』と意気込みを述べました。掛下さんは、スポーツ関連事業者の発掘・育成や連携支援を進め、「人や企業をつなぎ地域に貢献していきます」と抱負を述べました。

## 4/19 みんなのギャラリー OPEN !



オープニングセレモニーの様子

「ひと・ほんの庭 にこっと」の2階に、新たな展示室「みんなのギャラリー」がオープンしました。地域に開かれた新たな空間です。

オープンを記念し、磐田市在住の絵本作家であるよこただいすけさんの「よこただいすけ展 絵とことばのあと」が開催されました。繊細で温かみのある作品が並び、訪れた人たちは作品の魅力をじっくりと楽しみました。

## 4/13 ブレス浜松シーズン終了報告



表敬訪問したブレス浜松の選手たち

2025-26 V.LEAGUE シーズンの終了に伴い、静岡県西部を拠点に活動する女子バレーボールチーム「ブレス浜松」の選手らが市長を訪問しました。

今シーズンは惜しくもプレーオフ進出とはなりませんでしたでしたが、多くの試合で力強いプレーを見せ、ファンを魅了しました。

監督や選手からは悔しさとともに今後の決意が語られ、応援への感謝の気持ちも伝えられました。